

平成 28 年度 市民活動支援事業補助金交付の事業内容と成果

団体名	事業名	事業内容と成果
鹿屋市平和ガイド・調査員連絡会	遺そう・鹿屋市の戦争の記憶を次の世代に	<p>宇佐、知覧、万世の研修、九州戦跡関係者との交流会等を経て、県内戦跡関係者間で連携を取れるようになった。戦争体験談の聞き取り調査を重ね、その成果を「永遠の平和を願って～戦争体験談集1～」として発刊、及び市内の全小中学校、学習センターなどに配布し、平和を語り継ぐ役目を遂行した。「鹿屋大空襲を聞く会」を開催、市内外から80名が参加し、地元の方の体験談を通して平和の大切さを伝えた。</p> <p>また、研修を機に「豊の国宇佐市塾」と繋がりができ、宇佐市から講師を招き、米軍機が鹿屋を襲う貴重なガンカメラを映像の上映していただき、空襲の厳しい実態を如実に知ることができた。</p>
川東町内会	竹林整備と有効活用による地域活性化事業	<p>竹林利用が環境に良い効果を発揮できる優良資源であると学習し、自家菜園や自家用米への活用を行った。また、藪払いなどの竹林整備により、景観の美化効果を実感するとともに、埋もれていた氏神や地域に残る史跡等を再確認し、今後の観光資源、町内の歴史探訪への足がかりをつかむことができた。</p>
寿2丁目町内会	寿2丁目町内会ふれあい活性化事業	<p>町内会として大きなイベントを企画・運営するためのノウハウを学び、多くの教訓を得ることができた。町内会員全員を対象とした事業を行ったことで、町内会の機能が一步前進した。現在計画している防災計画や防災訓練実施計画等に反映できると考えている。</p>
東原町内会	東原町内会ふれあい活性化事業	<p>休耕地や空き地を地元業者と町民の協力で整備することができた。整備した土地をふれあい農園として利用するなど、様々な世代との交流やふれあいが生まれた。イベント等での野菜販売により、町内会の自主財源につながり、町内会活動のアピールにもつながった。</p>
菅原校区活性化協議会	菅原校区活性化事業	<p>地域対抗運動会では町内会の親睦を図り、様々な世代の交流が進んだ。津波避難訓練では、非常持ち出し袋を持ち出す人員の決定、AEDを使用した救命措置を学んだ。しめ縄づくり、門松づくりでは、老人会、子ども会から参加があり、交流が進んだ。11月に開催した軽トラ市では、地域の野菜等が人気があり、2～3月にも開催してほしいとの声が多くあった。</p>
花岡地区町内会連絡協議会	廃校を利用した地域活性化事業 (にじます交流)	<p>平成28年9月から平成29年2月まで、にじますの養殖を行った。</p> <p>にじますの生育不良により、予定していたイベントは実施できなかった。</p>
特定非営利活動法人コミュニティーサポートセンター	みんなのおうち～大人も子どもも一緒に成長する場～	<p>利用人数が毎回10人を超え、目標としていた「もう一つの我が家」のような場を体験いただけた。</p> <p>リピーターを獲得し、料理の要望や運営の提案など積極的に活用しようという効果が生まれた。</p>